暮らしは　いつも　たのしい

# 12class 冬 2015

Take Free

〈特集〉

## 黒潮作業所

くろしおさぎょうしょ

12classは「つくる」をキーワードに、生活の喜びを伝えていきます。
先取り情報はありませんが、ずっと残しておきたい事をあつめています。

三原 ミハラヴュー

島でのあれこれ
レポートします

〔ミハライロキッズプログラム vol.2〕
## 夏休み親子映画会
## 『かみさまとのやくそく』

2015.8.21,22　kichi, 北の山公民館にて

親と子、自分と家族のつながりを見つめなおすステキな時間♪と題して、胎内記憶をメインにしたドキュメンタリー映画（上映時間114分）の上映会を2日間にわたり行いました。小さなお子さま連れのママさんや年配の方まで、たくさんの方にお越しいただき、それぞれに感じるものを持てた有意義な時間となりました。

kichi 会場では、立ち見がでるほどの来場者数でした。

## カレーキャラバン伊豆大島編
〔ミハライロてんつなぎ vol.4〕

2015.7.19　kichi にて

その場所で調達した食材と、その場所に居合わせた人々の知恵をまぜあわせカレーを作りみんなで食べる「カレーキャラバン」が伊豆大島にやってきました。カレーキャラバンの活動は2015年度のグッドデザイン賞を受賞。コミュニケーションの場を生み出すその活動は多方面より注目を集めています。
この日は、島内の商店で材料を仕入れ、差し入れでいただいた野菜や魚を使い、最後は贅沢にも大島バターを投入！「大島やさいカレー」を完成させました！
その後てんつなぎ vol.4 では 「コミュニケーションって何だろう」というテーマでトークの場を設け、枠組みを超えて自由に人々がつながることがこれからの暮らしや社会のあり方のヒントになるだろうと気づかされた時間でした。

〈主催〉東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／NPO 法人 kichi

三原色〔ミハライロ〕　http://miharairo.to-on.info/

## おおしまおやこピクニック ー都会っ子と大島っ子、秋を遊ぶ１日ー

2015.10.3　椿花ガーデンにて

親と子が野遊びを思い切り楽しむ機会をつくりたい。そんな思いで「のあそびっこプロジェクト」さんが企画したツアーでした。当日は秋晴れ。島外と島内の家族 9 家族で大島の貝や葉っぱで遊び、一緒にかけっこをしたり明日葉音頭を踊ったり。お昼はつばきッチンのサンドイッチを食べて、みんなで楽しくいい思い出ができました！

〈主催〉のあそびっこプロジェクト、NPO 法人 kichi

Kichi　http://kichi.to-on.info/　FB　http://www.facebook.com/kichi.oshima

大島の花もの

## ブバルディア

原産地は中央アメリカ地域（メキシコ周辺）常緑の低木（樹木）で、高さは60cm～100cmほどに生長します。小さな十字形をした特徴的な花が何輪も集まって咲き、赤、白、ピンクやオレンジなど花色も豊富です。
ブバルディアは温度と日照の調整により、周年で出荷する事が出来るため、他の切り花よりも長く楽しめます。年間を通して品質も安定しているので、切り花として花束やフラワーアレンジメントによく用いられます。
天候や温度によって、生育が左右されやすいのが苦労するところです。水やりをはじめ肥料や農薬の選び方、散布する頻度や撒き方は農家さんによって異なり、それぞれ自分の農地や作物にあった方法を見つけるのが、栽培において一番難しい点です。
ブバルディアは名実ともに、大島の農産物を代表する花として、昔から多くの農家さんで栽培されてきた花です。（お話：山口芳和さん）

みんなでパンを作る場所

# 黒潮作業所

くろしおさぎょうしょ

あ、黒潮パン！
安心の味って
うれしいな

飾り気はないけれど、
素朴でかめばかむほど
豊かなあじわいが広がる。
作り手はパンと共に
ゆっくり成長する。
パンと人、
人生のふくらみを待つ場所。

三原山を望みちょっと歩けば海に行ける、そんな場所に立つ一軒家が黒潮作業所だ。

黒潮作業所は、「精神障害者の方々が家に閉じこもらないで、社会との繋がりを持ちながら生活できるように」との願いから、そうした方々の「働きたい」という思いが実現されるように必要な訓練を行う場として、社会福祉法人大島社会福祉協議会が運営している。

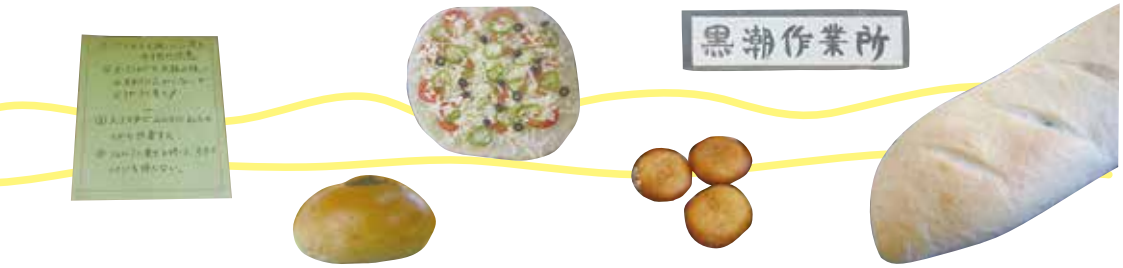
取材したこの日は調理パンを作る日。一週間の中でパン作りは3日間。パンを作る、お弁当を作る、この2つが利用者の主な仕事だ。

そうはいっても、施設を利用される皆さんの障害の状態はさまざま。なかには作業所までは来られたけれど、働く力が出なくて横になっている人や、パン作りはまだ慣れないから、みんなのお昼ごはんを作る人などそれぞれ。それでも来てくれるだけいい、と所長の下司さんは言う。

まわりの理解があり利用者となってここに来ても馴染むまで時間がかかる。なので、少しづつ変わるのを待つ。最初はほとんど声が出せず、かすかに聞こえるくらいだった人が今では誰よりも元気にあいさつできるようになったり、目の前の景色が見えていなかった人がある日突然「庭に綺麗な花が咲いていたのが見えたの！」と嬉しそうに教えてくれたり。そんな利用者の変化をたくさん見てきたから、下司さんはじめ職員の方たちは、利用者自らが心を開くまでじっと待っている。

ここは、みんなで一緒に作業をしながらゆるやかな時間の中で、ゆるやかに成長していくのを待つ、そんな場所でもある。

黒潮作業所ができて15年目になる。今でも売れるパンを作ることは課題であり大変なことだけれども、国産小麦粉や酵母、大島の塩を使うこと、他の材料や調味料についてもこだわることは続けている。体に安心安全な物をおいしく食べたい、つまり〝体がよろこぶおいしいもの〟にいきついた結果なのだ。だから派手ではないけれど、素朴でかめばかむほど味わいが出る。それが黒潮パンの特徴だし、大切にしたいこだわりだ。



連載①

# 島の家族

〈撮影〉佐久間ナオヒト（ぐぐ写真事務所）
http://nsakuma5.wix.com/hibi-photo-creative

✦お名前・出身地など
篠崎哲郎　大島・39歳
篠崎裕子　東京都日野市・38歳

✦肩書き
農業

✦島に戻った理由
自分で農業をやるため

✦大島在住年数
高校卒業までと
26歳帰島後
（計31年）

✦休日のすごし方
子供を畑に連れ出す。虫を
探したり、土いじりをしている
子供たちを見るのが好き

✦島に家族で暮らして思う事は何ですか
自然の中で子供が育つことが
良いことだと思いたい

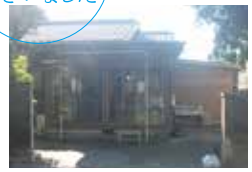
✦ご自身が考える大島の将来像を教えてください
食べるものやエネルギー（発電）、いろいろなものが
島の中で自給自足できる仕組みができないものか？

「なによりも、作業所での作業を通じて利用者がいきいきと明るく変化していく様子が伺えると本当にやっていて良かったと思う、もっともっとここを利用する人が増えて、一緒にパン作りをして新しい人生が開ける場所になって欲しい」そう願いながら下司さんは今日もパン作りに向かうのでした。

3　2　1
4
5

1）手早くコロッケパンを包む作業。時間との戦いだ。2）成型されたピザ生地が天板に並ぶ。3）気持ちのいい風が通るベランダの風景。4）作業を確認しながら進める利用者。5）忙しく動き回る職員たち。利用者とは時間が異なり朝7時より働きはじめる。

ご協力
ありがとう
ございました



黒潮作業所　くろしおさぎょうしょ
東京都大島町元町字赤禿28−5
tel 04992-2-4836

パン作りが
利用者さんの生きがいに
なっている事が嬉しいわ

下司さん

以下の予定は予告なく変更することがあります

告知

## 大島イイもの展（仮）

今年の2月にkichiにて開催した「大島イイもの展」。
より多くの方に、島内で作られた五感に響くモノたちを知っていただきたく
会場を都心に移し展示します。

日　時　**2016年［平成28年］2月6日（土）**
**13:00-20:00**
場　所　**アーツ千代田3331ラウンジ内**
参加料　**無料（一部有料）**
内　容　**展示、ワークショップ、トークセッションなど**

遊びに来てね！

告知

全編大島が舞台！　**映画**
2016年春完成予定　**「島の女たち」**

**今年の夏、全編大島を舞台にした映画撮影が行われました。完成に向け、監督の高野さんより言葉が届きました。**

撮影の準備ってこんなに楽しかったっけ!? 大島に滞在していた日々は、そうそう、夏休みみたいだった。脚本を書き疲れて、夕暮れの中、元町を歩いていた。お腹すいたな、でも、一人で食べるの寂しいな。交差点で信号待ちしていた車の窓が開き、「お! 監督じゃん。一緒に飯食う?」。とび上がって喜んだ。大島ではいつもこんなことが起きた。その豊かさは映画の中にもしっかり写っている。（高野 徹）

**私たちと一緒に活動しませんか？**

・イベントの時だけお手伝いしたい
・12classの取材をしてみたい
など何でも歓迎です！！

NPO法人kichiは、東京アートポイント計画の事業の一環として三原色〔ミハライロ〕を展開しています。三原色〔ミハライロ〕では、私たちの活動に賛同し一緒に動いてくれる仲間を募集しています。島の魅力の再発見、新たな価値の発見、その価値を発信する活動を続けます。是非、下記アドレスまでご連絡ください!!!

**mail@to-on.info**　お待ちしてます!!

**編集後記**　2年振りの発行で内容も一部変わりましたが、いかがでしたでしょうか。たくさんの方に支えられ続ける事ができた12class。再開後もどうぞよろしくお願いいたします。

12class　2015冬号（第22号）　2015.12.3発行
編集・制作__NPO法人kichi　東京都大島町元町1-9-4高田土産店2F
（撮影・ライター__千葉努／編集・制作__千葉れみ）
発行__アーツカウンシル東京

**東京アートポイント計画とは**
東京アートポイント計画は、地域・市民が参画するアートプロジェクトを通じて東京の多様な魅了を創造・発信することを目指し、「アーツカウンシル東京」の一環として東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が展開している事業です。http://www.artscouncil-tokyo.jp

主催：東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／NPO法人kichi
協力：東海汽船株式会社
◎本誌からの写真、文、イラストの無断転載を固く禁じます。

東京都　ARTS COUNCIL TOKYO　ミハライロ